

第4回 公民館まつり

10月30日(木)～11月3日(月)

第四回公民館まつりの要項がきまり、次のように実施することになりました。

公民館まつりは、それぞれの文化活動を自らの手で発表し、また鑑賞することによって町文化の振興をはかるものです。

町民のみなさんの積極的なご参加をお待ちしています。

◎会期
十月三十日(木)～十一月三日(月)

但し、町の資料展は十一月二十二日(日)まで。

◎会場
麻生町公民館

◎催し
(1)美術展(一般公募)
絵画・書道・写真・手工芸



天王崎にある八坂神社

「県民芸術鑑賞の集い」が毎年、県民の日を中心に県内五か所の会場で行われていますが、今年は、麻生町公民館でも開催されることになりました。今回は、世界的にもめずらしい女性オーケストラ、服部 正とグレース・ノーツ(日本女子管弦楽団)が優美な音楽をきかせてくれます。心ゆくまで鑑賞ください。

入場は無料です。

とき 十一月十六日(日)

午後一時三十分開場

ところ 麻生町公民館

申込方法 往復ハガキに住所氏名・年齢、返信用にあて名を明記したうえ十月十八日(当日消印有効)までに申込むか、所定の申込書にて直接公民館へ申込んでください。乳・幼児の入場はご遠慮ください。

申込先 麻生町大字麻生一、二二 麻生町公民館内・「県民芸術鑑賞の集い」鹿行地区実行委員会事務局

「県民芸術の集い」 11月16日

県民の心の豊かさを求める

ふるさとめぐり

麻生八坂神社

霞ヶ浦八景のひとつ天王崎の松林に八坂神社があります。八坂神社は、麻生藩主新莊氏が慶長十七年(一六一二)近江国新莊城から麻生に移った折、藩内二十か村の総鎮守として須佐之男命を祭祀したものです。

奇祭「馬出し祭」が行われることでも有名で、毎年、陰暦六月十四・十五日の両日、盛大な例祭が行われます。

近年までは、須佐之男命を奉斎したミコシと、八岐大蛇に見立てた馬とが激しくぶつかりあう神事が見られました。が、今はワラ作りの馬に変わり、その勇壮な戦いが見られなくなりました。

麻の広場

第一回

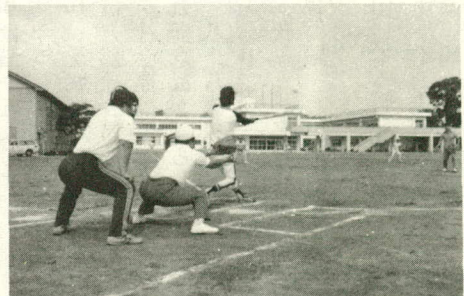
麻生町ソフトボール大会 優勝はプリンスクラブ

第一回の麻生町ソフトボール大会がこのほど町民野球場で開催され、プリンスクラブが優勝しました。

この大会は、麻生町ソフトボール連盟の主催により、同連盟が結成されて初めて開催した町長杯争奪戦で、現在登録されている二十六の全チームが参加して熱戦をくりひろげました。

三位までの成績は次のとおりです。

優勝 プリンスクラブ
準優勝 白浜クラブ



三位 太田クラブ 田町クラブ

第11回 町民体育祭

とき 10月10日(体育の日)

五十五年度 第一回 鹿行地方県民集会 開催される

真の豊かさを求める鹿行地方県民集会が、このほど鹿行地方総合事務所で開催されました。

この集いは、県民のみなさんが主体となつて、地域がかかえている共通の課題について、お互いの意見を交換し、これを集約して知事へ提言していくため活動をするものです。

集会には、鹿行地方町村の住民代表六十人が会議員となつて、今後二年間活躍されます。

このたびの第一回集会では茨城大学北岡甲子郎教授を助言者に迎えて会議がめづらしく、私たちの生活ととりまぐ「公害」問題をメインテーマとすることになりました。

行政相談

10月14日(火) 16日(木)

行政相談委員の瀬尾正満さんは、皆さんの身近にあつて

期日	時間	会場
10. 14	午前9時～11時	公民館行方分館
〃	午後1時～3時	小高中央公民館
10. 15	午前9時～11時	公民館大和分館
〃	午後1時～3時	太田小学校
10. 16	午前9時～11時	麻生町公民館

役所や公社、公団等の仕事について、苦情や要望等の解決を図るお手伝いをしています。また、困りごとについても相談にのつていただけます。

行政相談委員さんは、皆さんから相談を受けるため、次の日程表のとおり相談所を開設しますから、この機会に、どうぞ気軽に相談ください。

〔行政相談日程〕

戸籍の窓口

おめでとございます

出生者	世帯主	住所
吉崎喜美恵	男	麻生
小林 優子	明	富田
永作 淳子	昭	〃
高木阿友子	賢	〃
樽見 浩司	昭	〃
新橋 直子	和	〃
大原めぐみ	弘	〃
宮崎 友子	章	〃
荒張 由紀	英	〃
菅谷 典子	多	〃
菅谷 美恵	コ	〃
横田 統子	信	〃
高塚 博一	五	〃
箕輪 幸一	市	〃
茂木 秀典	己	〃
前川 夏美	宗	〃
死亡者	世帯主	住所
石神 正義	72	正
田山 悦子	1	光
正 義	72	正
石神 正義	72	正

俳句

未成りのトマトに秋の立ちにけり
立秋の肌にしゝすむ風のいろ
送り火を出して静けき仏間かな

短歌

ベルが鳴る風呂よりいそぎ駆け寄れば
受話機の声は吾子の転勤
淡紅の糸花咲ける合歓の葉の
掌を合すがに閉する夕昏
強風にすなだる舟の帆の古み
白き波頭を浮き沈みしつ

俚謡

草に臥て見る二人の夢は
空のデートか雲に乗る
日本列島春から急に
夏を除いて秋となる
渡りや落ちたかあぶない橋を
除けて今日まで生きて来た

秋の全国交通安全運動

9月21日～9月30日

運転者へ
まずゆとり 車間距離にも ころにも

歩行者へ
安全は 家庭の中から しつけから

参宮	利一	40	玉	江	麻	生
出沼	義彦	66	愛	子	〃	〃
齊藤	正雄	62	芳	江	〃	〃
中島	憲三	38	〃	〃	〃	〃
箕輪	昭	49	公	司	橋	門
大久保	彦彦	25	七	郎	小	高
大川	みつ	81	彰	〃	〃	〃